

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
4月 5月	学習の進め方 [教科書 巻頭] ◎学習の進め方を理解することができる。[知技(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)]	適宜	1 表2-P1上段を見て、学習の進め方を理解する。 2 下段を見て、1年間の学習内容を知る。 3 「六年生のめあて」を確かめる。	【態】 積極的に(①)学習の進め方を理解し(③)、学習の見通しをもって(②)書写学習に取り組もうとしている(④)。
いつも気をつけよう				
	用具の準備／用具の片づけ [教科書P2] ◎毛筆用具の準備のしかたと片づけ方を理解することができる。[知技(3)エ(イ)]	適宜	1 P2を見て、用具の準備のしかたと片づけ方を確かめる。 2 以後の学習において、適宜確かめる。	【知】 毛筆用具の準備のしかたと片づけ方を理解している。 【思】 毛筆用具の準備のしかたと片づけ方を確かめている。 【態】 積極的に(①)毛筆用具の準備のしかたと片づけ方を理解し(③)、学習課題に沿って(②)適切に扱おうとしている(④)。
	書くときの姿勢 [教科書P3] ◎書くときの姿勢を正しくすることができる。[知技(3)エ(イ)]		1 P3の写真や唱え歌「足はぺったん…」を見て、毛筆で書くときの姿勢を確かめる。 2 以後の学習において、適宜確かめる。	【知】 書くときの姿勢を正しくしている。 【思】 書くときの正しい姿勢を確かめている。 【態】 進んで(①)書くときの姿勢を確かめ(③)、学習課題に沿って(②)姿勢を正しくしようとしている(④)。
	筆の持ち方／タブレットを活用しよう [教科書P4-5] ◎筆の持ち方を正しくし、タブレット端末を活用することができる。[知技(3)エ(イ)]		1 P4の写真と解説を見て、筆の持ち方を確かめる。 2 P5を見て、タブレット端末の活用のしかたや、タブレット端末を使う際の正しい姿勢を知る。 3 以後の学習において、適宜確かめる。	【知】 筆の持ち方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを理解している。 【思】 筆の持ち方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを確かめている。 【態】 進んで(①)筆の持ち方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを確かめ(③)、学習課題に沿って(②)筆の持ち方を正しくしようしたり、タブレット端末を活用しようとしていたりしている(④)。
漢字の組み立て				
	部分の組み立て方①(三つの部分) [教科書P6-8] ◎三つの部分でできた漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(イ)]	毛筆 4～5	1 二つの「働」を比べて、どちらの字形が整って見えるかを考え、三つの部分の組み合わせでできた漢字の字形の整え方を、友達どうしやグループで話し合う。 2 P6下段の「たいせつ」を見て、三つの部分の組み合わせでできた漢字は、部分どうしの位置や大きさの関係に気をつけて書くとき字形が整うことを理解する。 3 「湖」と「街」の三つの部分の外形をなぞり、部分どうしの位置や大きさの関係を確かめる。 4 部分どうしの位置や大きさの関係を意識して、毛筆で「湖」や「街角」を書く。 5 毛筆の学習を生かして、「湖・働・街角」を鉛筆でなぞる。	【知】 三つの部分でできた漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書いている。 【思】 毛筆で「湖」「街角」を書写するなかで、三つの部分相互の大きさや位置の関係を確かめている。 【態】 進んで(①)三つの部分の組み立て方を理解し(③)、学習課題に沿って(②)三つの部分でできた漢字を書こうとしている(④)。
6月 7月	部分の組み立て方② [教科書P9] ◎漢字の部分の組み立て方への理解を深めて書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(イ)]	硬筆 1	1 これまでに学習した漢字の部分の組み立て方につけて、鉛筆でP9の漢字を書く。 2 P48-49「五年生で学習した漢字」から、部分の組み立て方が同じ漢字を選び、部分どうしの位置や大きさの関係を意識して鉛筆で書く。	【知】 漢字の部分の組み立て方への理解を深めて書いている。 【思】 硬筆で漢字を書くなかで、漢字の部分の組み立て方を確かめている。 【態】 積極的に(①)漢字の部分の組み立て方に注意して(③)、今までの学習を生かしながら(②)漢字を書こうとしている(④)。

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
	点画のつながり			
	点画のつながりと読みやすさ 〔教科書P10-11〕 ◎点画のつながりと読みやすさの関係を理解し、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(イ)〕	毛筆 3～4	1 二つの「ゆり」を比べて、どちらが文字と文字とのつながりを感じられるかを考え、その理由を友達どうしやグループで話し合う。 2 P10下段の「たいせつ」を見て、点画のつながり(文字と文字)を意識して書くことの効果を理解する。 3 「ひまわり」の「わ」と「り」を書くときの文字と文字とのつながりを指でなぞって確かめる。 4 点画のつながりを意識して、毛筆で「ひまわり」を書く。 5 毛筆の学習を生かして、「ひまわり・ゆずり葉」を鉛筆でなぞる。	【知】点画のつながりと読みやすさの関係を理解し、穂先の動きと点画のつながりを意識して書いている。 【思】〔毛筆で「ひまわり」を書写するなかで、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くことの効果を確かめている。〕 【態】進んで (①) 穂先の動きと点画のつながりを意識して (③)、学習課題に沿って (②) 読みやすく書こうとしている (④)。
9月	筆順と点画のつながり 〔教科書P12-13〕 ◎筆順と点画のつながりを意識して、字形を整えて書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(イ)〕	毛筆 3～4	1 筆順に従って次の画につなげて書くことを意識しながら、P12の空欄に硬筆で漢字を書く。 2 P12下段の「たいせつ」を見て、正しい筆順で次の画につなげるように書くと、字形が整うことを知る。 3 「情」の「りっしんべん」を指でなぞり、筆順と点画のつながりを確かめる。 4 筆順と点画のつながりを意識して、毛筆で「友情」を書く。 5 毛筆による学習を生かして、「友情・個性・有終の美」を鉛筆でなぞる。	【知】筆順と点画のつながりを意識して、字形を整えて書いている。 【思】〔毛筆で「友情」を書写するなかで、筆順に従って次の画につなげて書くと字形が整うことを確かめている。〕 【態】積極的に (①) 筆順と点画のつながりを意識して (③)、学習課題に沿って (②) 字形を整えて書こうとしている (④)。
10月	文字の配列			
	用紙に合った文字の大きさと配列〔教科書P14-15〕 ◎用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)ア・エ(ア)・(イ)〕 ○感じたことや想像したことなどから、短歌や俳句をつくることができる。〔B(2)イ〕	硬筆 1 ／ 毛筆 3～4	1 何行かにわたって文字を書くときのポイントを考えながら、P14の枠内に硬筆で俳句を書く。 2 P15下段の「たいせつ」を見て、何行かにわたって文字を書くときのポイント(文字の大きさ、余白、行間、行の中心、字間)を理解する。 3 用紙に合った文字の大きさや配列を考え、小筆(または筆ペン)で俳句「名月を…」を書く。 4 毛筆の学習を生かして、任意の用紙に俳句や短歌を書く。	【知】用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書いている。 【思】〔決められたサイズの用紙や枠に俳句を書くなかで、用紙に合った文字の大きさと配列を確かめている。〕 【態】進んで (①) 用紙に合った文字の大きさと配列を考え (③)、学習課題に沿って (②) 俳句や短歌を書こうとしている (④)。
11月	伝えるって、どういうこと? 〔教科書P16-17〕 ◎伝える情報の優先度や用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを工夫して書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(ウ)〕	硬筆 1～3	1 二つの委員会のポスターを比べて、情報が伝わりやすいのはどちらかを考える。P17の発表用資料も参考に、情報をわかりやすく伝えるためのポイントを、友達どうしやグループで話し合う。 2 P17下段の「たいせつ」を見て、伝える情報の優先度に合わせて文字の大きさや配列を工夫することの大切さや、伝え方のポイントを理解する。 3 情報が伝わりやすいように文字の大きさと配列を工夫して、「SDGs集会のお知らせ」を書き直す。	【知】伝える情報の優先度や用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書いている。 【思】〔「SDGs集会のお知らせ」を書き直すなかで、伝える情報の優先度や用紙全体との関係を踏まえて、文字の大きさや配列を工夫している。〕 【態】進んで (①) 情報による文字の大きさや配列を考え (③)、学習課題に沿って (②) 「SDGs集会のお知らせ」を書き直そうとしている (④)。
	ことば〔教科書P18-19〕 ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)〕	硬筆 1	1 言葉の美しさやリズムを味わいながら、「こころの色」を声に出して読む。 2 今までに学習した知識・技能を振り返り、その生かし方を考えて、「こころの色」を鉛筆でなぞる。	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】〔「こころの色」をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。〕 【態】進んで (①) 習得した知識・技能を振り返り (③)、今までの学習を生かして (②) 「こころの色」をなぞろうとしている (④)。

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
12月	【もっと知りたい】 みんなが使いやすい筆記具図かん [教科書P20] ◎ユニバーサルデザインの筆記具について知り、筆記具への関心を高めることができる。 [知技(3)エ(ウ)]	適宜	1 ユニバーサルデザインとは何か知る。 2 ユニバーサルデザインの筆記具の例を見て、友達どうしやグループで話し合う。 (話し合いの例) ・それぞれどのような場合や場面で使いやすいか ・自分は何れを使ってみたいか ・ユニバーサルデザインの筆記具のアイデア など	【知】 ユニバーサルデザインの筆記具について理解している。 【態】 積極的に (①) ユニバーサルデザインの筆記具について知り (③)、学習課題に沿って (②) 使いやすさなどについて話し合おうとしている (④)。
	【もっと知りたい】 文字の歴史 [教科書P29-31] ◎文字の歴史を大まかに理解し、書写学習への関心を高めることができる。[知技(3)ウ・エ(ア)]	毛筆 1 ／ 硬筆 1	1 「万葉集」「源氏物語」「雨ニモマケズ」について、知っていることを発表し合う。 2 それぞれの作品がどのような文字で書かれたかを考え、絵と文字を線で結ぶ。 3 P30-31を見て、漢字の誕生と伝来、仮名の誕生について理解し、興味をもった点、さらに調べてみたい点などについて話し合う。	【知】 漢字の誕生と伝来、仮名の誕生などの文字の歴史について、大まかに理解している。 【思】 文字の大まかな歴史を確かめている。 【態】 積極的に (①) 文字の歴史について知ろうとし (③)、学習課題に沿って (②) 興味をもった点、さらに調べてみたい点などについて話し合おうとしている (④)。
	書写広げたい<国語> [教科書P32-33] ◎情報を効果的に伝えるために、文字の大きさや配列を工夫して、パンフレットを書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(ウ)] ○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。[B(1)ア・ウ・オ・カ、(2)ア]	硬筆 1	1 パンフレットで推薦したいものを決め、情報を集める。 2 集めた情報をもとに、パンフレットの構成や割り付け、文章の内容を考える。 3 P33の筆記具の写真を見て、筆記具それぞれの特徴や、P32のパンフレット例に見られる工夫とその効果について、友達どうしやグループで話し合う。 4 P32のパンフレット例や解説を参考に、文字の大きさや配列、筆記具を工夫して、情報を効果的に伝えるパンフレットを書く。 5 友達どうしやグループで読み合って、感想を伝え合う。	【知】 文字の大きさや配列、筆記具を工夫して効果的に書いている。 【思】 パンフレットを作成するなかで、情報を効果的に伝えるために、文字の大きさや配列、筆記具を工夫している。 【態】 進んで (①) 文字の大きさや配列、筆記具を工夫し (③)、学習課題に沿って (②) 情報を効果的に伝えるパンフレットを書こうとしている (④)。
適宜	書写ブック			
	一年生 横書きの書き方 [教科書P22] ◎ (1年生で主に学習した) 点画の書き方や文字の形に注意しながら書くことができる。 [知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(ウ)]	適宜	1 (第1学年で主に学習した) 筆使いと字の形 (外形) のポイントを振り返る。 2 横書きの書き方やノートの書き方を確かめ、筆使いと字の形 (外形) の学びを生活に生かすという意識をもって、横書きでノートに書く。	【知】 点画の書き方や文字の形に注意しながら書いている。 【思】 ノートに横書きで書くなかで、1年生で主に学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】 進んで (①) 1年生で主に学習した知識・技能を振り返り (③)、今までの学習を生かしながら (②) ノートに横書きで書こうとしている (④)。
	二年生 げんこう用紙の使い方 [教科書P23] ◎ (2年生で主に学習した) 点画相互の接し方や交わり方、長短や方向などに注意して、文字を正しく書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)] ○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。[B(1)ウ・オ]		1 (第2学年で主に学習した) 筆順・点画の組み立て方のポイントを振り返る。 2 原稿用紙の使い方を確かめ、筆順・点画の組み立て方の学びを生活に生かすという意識をもって、原稿用紙に書く。	【知】 点画相互の接し方や交わり方、長短や方向などに注意して、文字を正しく書いている。 【思】 原稿用紙に書くなかで、2年生で主に学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】 進んで (①) 2年生で主に学習した知識・技能を振り返り (③)、今までの学習を生かしながら (②) 原稿用紙に書こうとしている (④)。

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
	三年生 手紙の書き方 [教科書P24] ◎（３年生で主に学習した）点画の書き方への理解を深めて書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)] ○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。[B(1)ウ・オ]		1 （第３学年で主に学習した）点画の種類と書き方のポイントを振り返る。 2 手紙（便箋）の書き方を確かめ、点画の種類と書き方の学びを生活に生かすという意識をもって、手紙を書く。	【知】 点画の書き方への理解を深めて書いている。 【思】 （便箋に手紙を書くなかで、３年生で主に学習した知識・技能の生かし方を考えている。） 【態】 積極的に（①）３年生で主に学習した知識・技能を振り返り（③）、今までの学習を生かしながら（②）手紙を書こうとしている（④）。
	四年生 はがきの表書き [教科書P25] ◎（４年生で主に学習した）漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。 [知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)]		1 （第４学年で主に学習した）部分の組み立て方のポイントを振り返る。 2 はがきの表書きの書き方を確かめ、部分の組み立て方の学びを生活に生かすという意識をもって、はがきの表を書く。	【知】 漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書いている。 【思】 （はがきの表を書くなかで、４年生で主に学習した知識・技能の生かし方を考えている。） 【態】 進んで（①）４年生で主に学習した知識・技能を振り返り（③）、今までの学習を生かしながら（②）はがきの表を書こうとしている（④）。
	五年生 新聞の書き方の工夫 [教科書P26] ◎（５年生で主に学習した）筆順と字形の関係を理解して、目的に応じて使用する筆記具を選び、書く速さを意識して書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(ウ)] ○事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。[知技(2)ア・イ、B(1)ウ・エ・オ、(2)ア・ウ]		1 （第５学年で主に学習した）筆順と字形・書くときの速さ・筆記具の選択のポイントを振り返る。 2 新聞の書き方の工夫を確かめ、筆順と字形・書くときの速さ・筆記具の選択の学びを生活に生かすという意識をもって、新聞を書く。	【知】 筆順と字形の関係を理解して、目的に応じて使用する筆記具を選び、書く速さを意識して書いている。 【思】 （新聞を書く活動のなかで、５年生で主に学習した知識・技能の生かし方を考えている。） 【態】 積極的に（①）５年生で主に学習した知識・技能を振り返り（③）、今までの学習を生かしながら（②）新聞を書こうとしている（④）。
	六年生 ポスターを作るときの工夫 [教科書P27] ◎（６年生で主に学習した）点画のつながりや、用紙に合った文字の大きさや配列に気をつけて書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(ウ)] ○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。[B(1)ウ・オ]		1 （第６学年で主に学習した）点画のつながり・文字の大きさ・用紙に合った文字の大きさと配列のポイントを振り返る。 2 ポスターを作るときの工夫を確かめ、点画のつながり・文字の大きさ・用紙に合った文字の大きさと配列の学びを生活に生かすという意識をもって、ポスターを作る。	【知】 点画のつながりや、用紙に合った文字の大きさや配列に気をつけて書いている。 【思】 （ポスターを作る活動のなかで、６年生で主に学習した知識・技能の生かし方を考えている。） 【態】 進んで（①）６年生で主に学習した知識・技能を振り返り（③）、今までの学習を生かしながら（②）ポスターを作ろうとしている（④）。
	書写の言葉 [教科書P28] ◎書写で学習した言葉を確認し、学習や日常生活に役立てることができる。[知技(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)]		1 今までに書写で学習した言葉を振り返り、言葉の意味や気をつけるポイントについて、適宜確認する。	【知】 今までに書写で学習した言葉の意味や気をつけるポイントを理解している。 【態】 積極的に（①）書写で学習した言葉を振り返り（③）、学習の見通しをもって（②）学校生活や日常生活に生かそうとしている（④）。

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
1月	まとめ			
2月 3月	書きぞめ 〔教科書P34-37・P53-56〕 ◎今までに学習した知識・技能を生かして書き初めを書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)〕	硬筆 0～1 ／ 毛筆 6	1書き初めとは何かについて、確かめる。 2今までに学習した知識・技能を振り返り、その生かし方を考えて、毛筆で「感謝」や「将来の夢」を書く。 3今までに学習した知識・技能の生かし方を考えて、硬筆で文章を書く。	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】書き初めを書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)書き初めを書こうとしている(④)。
	通信文を見てみよう 〔教科書P38〕 ◎伝える情報の優先度や用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書くことの大切さを理解することができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)〕	適宜	1P38の発表用資料や電子メールの例を見て、通信文を書くときのポイントを理解する。 2身の回りの通信文を集めて、文字の大きさや配列の観点から、どのような工夫がされているかを考え、友達どうしやグループで話し合う。	【知】伝える情報の優先度や用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書くことの大切さを理解している。 【思】教科書の例や集めた通信文を見て、文字の大きさや配列などの工夫について考えている。 【態】積極的に(①)情報による文字の大きさや配列を考え(③)、これまでの学習を生かしながら(②)通信文の配列の工夫を話し合おうとしている(④)。
	六年生のまとめ①② 〔教科書P39-41〕 ◎第6学年で学習したことを振り返り、今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)〕	毛筆 4	1P39の『『たいせつ』のまとめ』を見て、今までに学習した知識・技能を振り返り、「旅立ちの朝」を書くときに生かせることを考え、「書写の言葉」を使って自分のめあてを書く。 2めあてに気をつけて、毛筆で「旅立ちの朝」を書く。 3P50-52「六年生で学習する漢字」などから、2で決めためあてに沿った文字を選んで、硬筆で書く。	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】毛筆で「旅立ちの朝」を書写するなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】進んで(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)自分で決めためあてに沿った文字を書こうとしている(④)。
	今の思いを書き残そう 〔教科書P42-43〕 ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)〕 ○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。〔B(1)オ、(2)ウ〕	硬筆 0～2 ／ 毛筆 1～2	1小学校6年間で学習した知識・技能を振り返り、その生かし方を考えて、カレンダーや色紙、黒板、書写作品集などを書く。 2消しゴムを使ったはんこの作り方を知る。(手順にしたがって自分のはんこを作り、作品に押す。)	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】卒業の記念になる作品を作る活動のなかで、小学校6年間で学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】積極的に(①)小学校6年間で習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)卒業の記念になる作品を作ろうとしている(④)。
	私の文字／私の文字をふり返る 〔教科書P44-46〕 ◎手書き文字には、書く人によって異なる味わいがあることを理解し、6年間で学習した知識・技能や自分の文字を振り返ることができる。〔知技(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)〕	適宜	1P44-45の著名人の手書きの名前を見て、書き手によって異なる文字の味わいを感じ取る。 2小学校6年間で学習した知識・技能や、自分の文字の変化・成長した点などを振り返り、自分の文字のよいところを考えて書く。	【知】手書き文字には人によって異なる味わいがあることを理解している。 【思】小学校6年間で学習した知識・技能を振り返りながら、自分の文字のよいところを考えて書いている。 【態】進んで(①)小学校6年間で習得した知識・技能や自分の文字の変化・成長した点などを振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)自分の文字のよいところを書こうとしている(④)。

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
適宜	資料			
	平仮名／片仮名／ローマ字 〔教科書P47〕 ◎点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。〔知技(1)ウ、(3)エ(ア)〕	適宜	1 平仮名・片仮名の筆使い、筆順、外形などを確かめる。 2 ローマ字の書き方を確かめる。	【知】点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【態】進んで(①)点画の書き方や文字の形、筆順などに気をつけて(③)、今までの学習を生かしながら(②)書こうとしている(④)。
	五年生で学習した漢字 〔教科書P48-49〕 ◎点画の書き方や文字の組み立て方に注意しながら、筆順に従って字形を整えて書くことができる。〔知技(1)エ、(3)エ(ア)〕		1 第5学年で学習した漢字について、点画の書き方、文字の形、文字の組み立て方、筆順などを適宜確かめる。	【知】点画の書き方や文字の組み立て方に注意しながら、筆順に従って字形を整えて書いている。 【態】積極的に(①)点画の書き方や文字の組み立て方、筆順などを確かめ(③)、今までの学習を生かしながら(②)字形を整えて書こうとしている(④)。
	六年生で学習する漢字 〔教科書P50-52〕 ◎点画の書き方や文字の組み立て方に注意しながら、筆順に従って字形を整えて書くことができる。〔知技(1)エ、(3)エ(ア)・(イ)〕		1 第6学年で学習する漢字について、点画の書き方、文字の形、文字の組み立て方、筆順などを適宜確かめる。	【知】点画の書き方や文字の組み立て方に注意しながら、筆順に従って字形を整えて書いている。 【態】積極的に(①)点画の書き方や文字の組み立て方、筆順などを確かめ(③)、今までの学習を生かしながら(②)字形を整えて書こうとしている(④)。
	速く、読みやすく書くには<発展> 〔教科書P57〕 ◎行書について知り、中学校の書写学習への関心を高めることができる。〔中1知技(3)エ(イ)〕		1 小学校で学習してきた書体を「楷書」ということ、中学校では楷書よりも速く書ける「行書」を学習することを知る。 2 楷書と行書で書かれた「将来の夢」を比べて、筆使いの違いを考え、どのような点が違うか、友達どうしやグループで話し合う。	【知】「楷書」「行書」という言葉や、筆使いの違いを認識している。 【態】進んで(①)「楷書」と「行書」の筆使いの違いを確かめ(③)、学習の見通しをもって(②)どのような点が違うかを話し合おうとしている(④)。